

欧文誌 (Trans. ISIJ) への講演概要 (第 111 回大会) 投稿案内

本会は会員各位の研究成果の発表の一つとして、講演大会を年 2 回 (春・秋) 開催いたしております。編集委員会では当講演大会をより良くするため、欧文誌を通して広く海外からの参加を呼びかけるなど種々検討を重ねております。

ご承知のとおりわが国における鉄鋼生産技術は世界の注目を集めており、その成果及び動向が最も早く把握できる手段は当春秋講演大会およびその講演概要集であります。海外においても当講演内容には非常に関心が高く、本会への講演内容に関する問い合わせは相当の数にのぼっております。

以上のことから本会編集委員会で種々検討の結果、春秋の講演を早い時期に欧文誌で海外に紹介することはたいへん有益であるとのことから、昭和 55 年 1 月発行の欧文誌から講演概要 (英文) を掲載いたしておりますが、海外よりたいへん好評をいただいております。今 111 回 (昭和 61 年 4 月) 大会は、下記により公募いたしますので、奮ってご投稿下さいますようお願い申し上げます。

記

- I. 原稿締切日 昭和 61 年 5 月 20 日 (火)
- II. 原稿枚数 本会所定の原稿用紙 1 枚 (図, 表, 写真を含む)
(お申し出いただければ所定原稿用紙を送付いたします)
- III. 原稿内容 原稿は講演概要 (和文) の内容とまったく同じものを原則とします。
- IV. 執筆の仕方 執筆者がタイプされた原稿がそのまま約 80% 縮尺され、オフセット印刷されますので下記ご留意のうえご執筆下さるようお願いいたします。
 - 1) タイプライターはカーボンリボンを使用し (ファブリックリボンは不可)、活字は原則としてエリート (12 pitch) で single space (63 行)、2 段打ちにして下さい。
 - 2) 図, 表, 写真は縮尺を考慮し作成して下さい。
 - 3) 英文タイトルは講演申込用紙に記入されたものが英文校閲のうえ講演概要集に掲載されますので、そのタイトルに従って下さい。
- V. 原稿提出
 - 1) 投稿のさいは、正原稿をご送付下さい。英文校閲を希望される方のみ、初めにコピー原稿 (副原稿) をご送付下さい。
 - 2) 英文校閲は、特に投稿者が希望される場合を除き行ないません。
 注) 講演概要投稿後、投稿規程に従って Research Article, Research Note, Technical Report として投稿されることを歓迎いたします。
- VI. 欧文誌掲載 欧文誌 (Transactions of The Iron and Steel Institute of Japan), Vol. 26 (1986), Nos. 7~12 にわたって掲載されます。
- VII. 原稿送付先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
問 合 せ 先 日本鉄鋼協会編集課欧文誌係 (Tel. 03-279-6021)

書 評

材料強度の原子論 講座 現代の金属学 材料編 第 3 巻

金属材料は低温から高温まで強靱性を有するので、構造部材として最も広く使用されている。本書では材料の強靱性、すなわち塑性変形と変形後の抵抗性について、原子論的に解説がなされている。前半においては点欠陥、転位、結晶粒界などの格子欠陥についての解説と強度に対する基本的役割、後半は材料の強靱性を多様な破壊形態と関連づけて述べられている。本書の特徴は基本的な項目を理解させつつ、実用材料で起る現象について

も触れられており、基礎から応用まで幅広く解説されていることである。又各章には演習問題と解答へのヒントが記載されており、十分な理解ができるよう配慮されている。引用文献も豊富であり、材料の入門書としてだけでなく、材料開発にたずさわる技術者にも大いに有用な参考書である。是非手元に一冊置きたい図書である。

本書の内容は次の通りである：

- ①結晶中の転位、②結晶中の点欠陥、③結晶粒界および異相界面、④非弾性、⑤降伏と加工硬化 (単結晶)、⑥固溶強化と固溶軟化、⑦第 2 相による硬化、⑧金属間化合物および規則合金の強度、⑨多結晶の降伏と変形、⑩双晶変形とへき開破壊、⑪粒界偏析と粒界破壊、⑫水素ぜい化、⑬高温強度、⑭疲労。 (大谷泰夫)

A 5 判 291 ページ 定価 2800 円

昭和 60 年 2 月 日本金属学会発行